

秋田県女性農業委員だより〈第7号〉

発行日 平成28年6月23日
秋田県女性農業委員協議会

1. 改正農業委員会法のもと、5名の女性農業委員が選出されました！

平成28年4月1日から施行された改正農業委員会法のもと、にかほ市と井川町で、農業委員・農地最適化推進委員の公募・選出が行われ、にか

ほ市より3名、井川町より2名の女性農業委員が選出されました。(関連記事：3.にかほ市長、井川町長に女性登用を要請)

— にかほ市農業委員会 農業委員 —



阿部 鈴子さん 佐藤 久美子さん 齋藤 久江さん

— 井川町農業委員会 農業委員 —



板垣 順子さん 湊 たつ子さん

農地利用の最適化、農村の活性化のために、皆様と力を合わせて活動していきます！

2. 平成27年度 東北・北海道ブロック女性農業委員研修会を秋田市で開催

平成27年11月20日、秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」で、平成27年度東北・北海道ブロック女性農業委員研修会（主催：東北・北海道農業会議、女性農業委員会組織）を開催し、東北・北海道の女性農業委員など総勢169名（本県女性農業委員40名）が集結しました。

研修会では、京都府立大学 中村貴子 講師をお招きし、「女性農業委員が自信を持って活動するために～女性が農業委員を担う意義とこれからの登用推進～」と題する基調講演を通じて、農業委員はもちろんのこと、女性が農村社会において活躍する意義について学びました。その後、農業委員活動における女性が活躍する事例として、米沢市農業委員会の角屋きくゑさんより「愛☆婚シェルジュ米沢」の取り組みを紹介いただき、10年間の活動継続と、活動を通じた2組の結婚に感銘の声が上がりました。

また、本県からは、北秋田市の皆さまから紙芝居「あぐり小学校のふたり」トマト畑の事件簿



事例発表を行った北秋田市の皆さん

—を上演していただきました。農地を守る女性農業委員の活動の物語に、会場は温かな雰囲気になりました。

皆様のご協力によって、全ての日程を大成功に終えることができ、大変感謝しております。なお、平成28年度の同研修会は、11月17日（木）18日（金）の2日間に渡り、山形県山形市内で開催される予定です。

私のつぶやき vol.7

—上小阿仁村農業委員会 齊藤鉄子さん—



齋藤 鉄子 さん

私の住む上小阿仁村は、現在人口2,500人弱、高齢化率50%を超えた中山間地域の小さな村です。現在私は、農業委員として5期目となりました。2期目までは選挙に立候補し、当選をさせていただき、3期目以降は議会推薦で村議会議員としての立場でもあります。

13年程前は、「役職につくのは男」という気風を感じていましたが、立候補を薦め、認めてくれた村民の意識の高さに改めて感謝しています。

嫁いってから専業農家として、稲作・比内地鶏を営みながら、JAあきた北央女性部での活動、直売活動などに取り組んできました。仲間と共に様々な出来事について悩み・励まし合い、相談し合えたからこそ続けてこれました。

さて、村の農業委員は10人で、この中で会長を務めております。日々自分の力不足を痛感しますが、近頃はようやく農家の方から、農地に関する問題や、それ以外の事も相談して頂けるようになり、自分なりに一生懸命に取り組んでいます。

他の市町村に比べ、案件は多くはありませんが、最近では離農する農家が増えており、村の将来の姿を危惧しています。稲作の規模条件のみで判断すると、担い手は足りていることになっていくようですが、中山間の条件不利地域の多い地域では計算通りにはいきません。様々な形で関わり合い、支え合うことで農地はもちろん、村の維持にもつながると思っております。農業委員として知り得た知識を生かし、農政がさらに良くなるように提言していきたいと思っております。

制度改革により、農業委員は公選制から選任制になりましたが、農業を守る為、農地を守る為の番人として、農業委員の果たす役割は重要であることを再確認しているこの頃です。

—五城目町農業委員会 伊藤恵美さん—



伊藤 恵美 さん

私は、農業委員になって1期目です。研修会等に参加し、他の女性農業委員さん達の活動を聞いて、五城目町の私達も、任期中に「これをやった」と言えるような事があればと日々模索中です。先輩の委員さん達からは、委員活動のみならず、農作業

についても優しくアドバイスして頂き励まされていることも多々あります。今まで家の中ばかりにいた私には、委員会は情報交換の場であり情報収集の場になっています。

家では、主人と水稻約24ha、夏には育苗ハウスでミニトマト（高糖度）の契約栽培20a、今冬からハウスで薬物野菜にも試験的に挑戦しています。JAの直売所のみに出荷していますが、同じ作物が競合している中でいかに売上を伸ばすか考えるのが、私の新たな楽しみになっています。

これまで娘が出荷を手伝ってくれ、ラベル作りや陳列の工夫等、2人でアイディアを出し合って作業していましたが、春から園芸の勉強のため、東京の大学に進学しました。寂しさもありますが、今以上に頼もしい存在になってくれると信じています。今のところ、後継者になるかは未知数ですが、安心してバトンタッチ出来る様、経営を確立させていくのが親の務めと思っております。

厳しい農業情勢ですが、こつこつと頑張りながら残りの任期は精一杯、委員活動と農業を両立させ、新しいことにも挑戦していきたいと思っております。

3. にかほ市長、井川町長に女性登用を要請

平成28年4月1日の農業委員会法改正に伴い、にかほ市では平成28年の1月4日～2月3日、井川町では平成28年1月14日～2月12日にかけて、農業委員・農地最適化推進委員の募集が行われました。

委員定数の削減や、議会推薦枠の廃止等、女性登用に向けた新たなハードルが出来ましたが、これを乗り越えて、女性が力を発揮していく必要があります。このため、当協議会では、県農業会議及び地元農業委員会同席のもと、にかほ市長に対し1月8日、井川町長に対し1月20日に直接訪問し、女性登用促進のための要請活動を行いました。

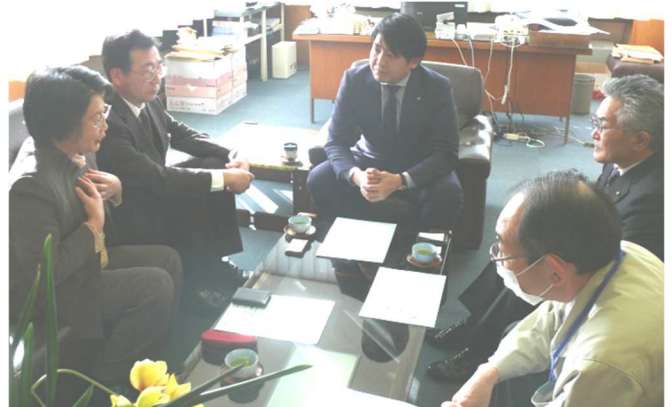
にかほ市長からは、「市の特産品は女性の力で生み出されたものばかりで、女性は地域の活力を担っている。女性が組織に複数存在することで力になるのだから、積極的に取り組みたい。」、井川町長からは「今回の委員選出は、県で初めての実施なので、注目が集められている。締切後に選任するのが困るくらい、手を挙げて欲しい。」と大変嬉しく、力強い言葉を頂戴しました。

改正農業委員会法では、農業委員・農地最適化推進委員の選出について、「年齢、性別等に著しい偏りが生じないように配慮しなければならない」

ということが決められています。本協議会は、これからも女性の登用促進に向けて励んでまいります。



にかほ市長 横山 忠長 氏（右）への要請書を
手渡す高橋会長



井川町長 齊藤 多聞 氏（中央）との意見交換

4. 全国女性農業委員ネットワーク総会 法改正を踏まえた申し合わせ決議も

平成27年12月11日、東京都「主婦会館」において、「第6回全国女性農業委員ネットワーク総会」が開催され、本協議会からは、高橋京子 会長が出席しました。会員、関係者の参加のもと、平成27年度活動報告、平成28年度事業計画が承認されました。また、ネットワークの規約について、平成28年4月1日以降の事務局について、一般社団法人全国農業会議所に設置すること、活動年度については、毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終わることが議決されました。

また、『農業委員会等に関する法律』の改正を踏まえた女性農業委員の登用に関する申し合わせ決議が執り行われ、継続的かつ安定的に女性が農業委員へ登用されるよう、次の内容が決議されました。

1. 農業委員として、自らの地域活動を強化しよう

現在の任期が満了するまで、農業委員として、自らの地域活動を強化し、成果の積み上げを図ること。

2. 女性農業委員の登用に向けて、関係機関等へ積極的に働きかけよう

①県段階において、女性の農業委員への登用に向けた申し合わせ決議を積極的に呼び掛けること。

②市町村長や議会にメッセージを送る等、改正農業委員法の趣旨について周知徹底すること。

③地元の団体や組織に対し、農業委員の募集の際に推薦を依頼すること。

3. 女性農業委員組織として積極的な推薦を実施しよう

委員候補者の地元と調整の上、都道府県及び全国の女性農業委員組織は積極的に女性の農業委員への推薦に取り組むこと。

5. 平成27年度「女性農業委員登用促進研修会」開催

平成27年12月10日～11日、東京都「主婦会館」において、「平成27年度 女性農業委員登用促進研修会」が開催されました。

この中で、岡山県にある(有)吉備高原ファームの山本陽子 代表より、「女性目線からみた農業経営～売れるものづくりのヒント～」と題する基調

講演の後、「改正農業委員会法下における女性農業委員の登用対策について」及び、「女性農業委員に求められる役割、仕事について」と題し、情勢報告の後、積極的な意見交換が行われました。

本協議会からは、高橋京子 会長、山田貞子 副会長、亀田静子 副会長が出席しました。

6. 平成27年度「女性農業委員活動推進シンポジウム」開催



意見を述べる高橋会長と、本県からの出席者
平成28年3月9日(水)、東京都「浅草公会堂」

で「第12回女性農業委員活動推進シンポジウム」が開催され、本県より28名が出席しました(本協議会会員18名ほか、男性委員、事務局職員)。

この中で、農業ジャーナリストの青山浩子 氏より、「女性目線で考える地域農業・農村の活性化について」と題し、講演が行われた後、女性農業委員登用のあり方に関するパネルディスカッションが行われ、本協議会 高橋会長より、「改選を迎える市町村で要請活動を行った。応募は自由だということを理解し、『自分もやるんだ』という思いを持って挑戦してもらいたい。」と意見を述べました。

7. 遊休農地のための実践研修会に参加しました

平成28年3月10日(木)、東京都「江上料理学院会議室」において、「遊休農地解消のための実践研修会」が行われ、秋田県、石川県、岐阜県、徳島県、鹿児島県の限定5県の代表者を参集し、本協議会から5名の会員が参加しました。

研修会では、それぞれの地域の地産地消レシピについて、実際に調理・試食を通じて紹介するとともに、各県の遊休農地解消の事例発表が行われました。本県では、はたはた寿司、大根のなた漬、煮なます、あさづけ、サラダ寒天を調理し、潟上市の遊休農地解消事例とともに紹介しました。



サラダ寒天を調理する会員ら

☆ 全国農業新聞の普及拡大に取り組みましょう ☆

平成28年6～7月、10～11月は、全国農業新聞の全国統一普及強化月間です。農業委員会の取り組みを広く発信するべく、購読に向けて周囲に声をかけていきましょう！

☆ 編集後記 ☆

改正農業委員会法施行後、初めての発刊です。今後もより皆様が活躍出来る体制を築き、仲間を増やしていきけるよう、努めて参ります。

— 今後の行事予定 —

7月13日(水) 秋田市・ふきみ会館 秋田県女性農業委員協議会第9回総会・平成28年度女性農業委員研修会
11月17日(木)～18日(金) 山形市内 平成28年度東北・北海道ブロック女性農業委員研修会

編集・発行：秋田県女性農業委員協議会(事務局：一般社団法人 秋田県農業会議)
秋田市山王4丁目1-2 秋田地方総合庁舎内 TEL:018-860-3540 FAX:018-823-7361 HP: <http://apca.or.jp/w-agri/>